
論理的な話し方

1. 構成法

- (1) 時系列法 : 物事が起こった時間の順序に述べていくこと。
⇒整理されていて、一つのことを長く続けているという印象
- (2) 箇条書き法 : 最初にこれから述べる項目の数を提示してから話す。
⇒頭の中が整理されている人という印象
- (3) P R E P法 : 要点→理由→例→要点の順に述べる。
⇒理由が明確になり、論理的な印象

2. わかりやすい話

- ①話の方向づけ。何について述べるのか。
- ②先に結論、後で理由や具体例。
- ③ナンバリング。論点の番号。
事前にポイントの数。
今何番目のポイントか。
- ④ラベリング。論点の見出し。
2つの概念の組み合わせ。「○○の□□」「○○と□□」。
10字以内で
- ⑤キーワードの繰り返し。
- ⑥少しの笑い。

3. 話の展開

- ①フォーカス : 誰が、何について、話しているか。
- ②アドバンス : 広げる。話を前に進める。
「いつ、どこで、誰が、何を」
- ③エクステンド : 深める。話を深く掘り下げたり、詳しく描写する。
「どのように、たとえば、なぜ」